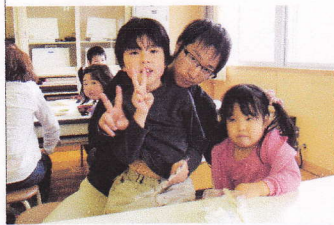


2011年6月6日 岩手県ユニセフ協会(旧・日本ユニセフ協会岩手県支部)発行

ボランティア活動・・・被災地には行けないけど、できることを！！

岩手県ユニセフ協会のボランティアスタッフをはじめ、多くのユニセフ支援者がユニセフボランティアとして、緊急支援物資の仕分け、学校再開のための清掃、子どものケア・・・保護者へのチラシセット、プレイセラピー講習会参加、こども遠足バスなどに参加しました。

盛岡から被災地まで100～150kmの被災地までは支援に行けないけど、できることには参加したいという思いでみんなで活動に参加しています。



▲5月GW「子どもバス遠足」に沿岸10ヶ所の約900人のこどもと保護者が参加

3日、西和賀町無地内カタクリ群生地に行ってきました。残雪をぬけるとカタクリ・福寿草・二輪草の咲く群生地、町あげての歓迎で一緒に山菜の天ぷらをしたり、大学生ボランティアとすっかり仲良しになった子どもたち、親子で参加したお母さん「車が流されたのでどこにも連れていけないので、ユニセフさんに感謝しています」と話し、子どもたちの笑顔が見られとてもうれしかったです。

岩手県ユニセフ協会事務局長 藤原綾子



▲5月8日：花巻宮沢賢治童話村で花巻友の会の皆さんが子どもたちを歌で歓迎



▲「保護者のみなさんへ」学校へ配布するチラシをセットするボランティアさん

2011.4

保護者のみなさんへ

岩手県 岩手県教育委員会
東日本大震災心支援センター（日本障害心士会・日本心理臨床学会）
公益財団法人日本ユニセフ協会

お子さんの遊びや行動で、「え！」って思うことはありませんか？
お子さんが、こんなことをしていたら・・・

あんまりなことがあったので、おのれか、おさまようとしている、だれにでも服を着る服印だとおぼえてください。

（あ、ちゅと読んでみたんだー）とおのれで読んでください。
むらなで、遊びを見守ってください
自分なりに物語を作っているのかもしれないません。
このような遊びは、少し安心感があてないかもしれません。

神楽・抱腹の絵を大人から描かせてはいけません！
目付内には、筆袋の絵を添えた時、筆袋ごっこは、ごっこをした時のかかわりのカードをアドバイスします。

そして、「わー、いっぱい遊んだね！」
「いっぱい遊んだね」とか、おどろきのメッセーを添えてあげてください。

もし、遊び過ぎる遊びやしている時は、おのれの上に乗って、からだをぐくめておにたり、百舌あげて、まんとおなめくことをやってみるといいでしょう。

きけんな遊びは、あきらめておめしよ。

ヨシヨシと、だいじょうぶだよと、おんをささってあげたり、しましょう。

あさ、夜中に驚かされたことをおぼえてないことがあります。

遊ばせごっこ・寝るごっこ

夜中にうなされる・飛び起きる

ユニセフこども遠足バス……第2弾

5月GWに参加できなかったこどもたちを対象に、6月5日藤沢町の館ヶ森アーク牧場にユニセフ遠足バスができました。200人を超える参加、おじいちゃん・おばあちゃんと参加した子どもたちもいました。草原いっぱい走りまわったり、動物たちと遊び、小さな虫を見つけ喜んだり自然にどっぷりとつかり嬉々としたこどもたちを見て、ボランティアスタッフもとても元気になった一日でした。

「中学生5人で参加した女の子と牧場内を散策し、楽しそうにおばあちゃんにお土産を買い、一緒にいて私まで楽しくなりました。少しでも元気になってくれたならうれしい」とボランティアとして参加した花田陽子さん。



▲陸前高田・大船渡・釜石 ▲トントンダービーの子豚くん ▲かたつむり みーつけた!
大槌からバス到着
ウェルカム!! ボランティアスタッフ



▲原っぱを走り、照れ笑う女の子
ボランティアのお姉さんと



▲ゲイビマンがお別れのエール



▲パチリ・・・地区ごとに記念写真

6月11日、「盛岡チャグチャグ馬こ」といわて馬っこパークで引き馬や小動物で遊ぶ、ユニセフ遠足バスがです。山田・宮古などから200人を超える参加のようです。子どもたちと遊んだり、安全を見守ってあげるボランティアとして参加しませんか。

お問い合わせ・お申し込み電話番号：019-681-7561

受付時間： 10:00～20:30 (前日までにお申し込みください)

(公益財団法人) 日本ユニセフ協会 東日本大震災緊急支援本部 盛岡事務所